

2022年5月13日

各 位

会 社 名 株式会社プラザクリエイト本社
 代表者の役職名 代表取締役社長 大島 康広
 (コード番号 7502 東証スタンダード)
 問 合 先 取締役経営本部長 中村 守宏
 T E L 03-3532-8812

固定資産の減損損失の計上及び業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

2021年12月28日に公表いたしました、2022年3月期(2021年4月1日～2022年3月31日)の連結業績の予想値と実績値で差異が生じたのでお知らせいたします。また、2022年3月期における固定資産の減損損失についても合わせてお知らせ致します。

記

1. 固定資産の減損損失の計上について2022年3月期連結累計期間において、当社が保有するパレットプラザ店舗及びモバイル店舗の固定資産について減損の兆候が認められたため、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づく回収可能性を検討した結果、減損損失として1億27百万円を計上することと致しました。

2. 2022年3月期通期連結業績予想値と実績値との差異
(2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 21,000	百万円 100 ～400	百万円 100 ～400	百万円 100 ～400	円 銭 —
実績値 (B)	21,719	115	247	120	9.80
差額 (B-A)	719	15 ～△284	147 ～△152	20 ～△279	—
増減率 (%)	3.4	15.9 ～△71.0	147.6 ～△38.1	20.8 ～△69.8	—
(ご参考) 前期実績 2021年3月期	20,674	305	390	732	57.90

3. 差異が生じた理由

2022年3月期の通期業績予想について、モバイル事業においては、店舗数の増加や店舗外での販売イベントにより販売台数の積み上げはできた一方で、販売インセンティブ手数料の見直しや、サブブランド販売割合の増加等により、スマートフォン端末の1台当たり利益率は減少しました。また、イメージング事業においては、フランチャイズ事業への業態転換を推し図る

中での売上構造の変化、新規事業への先行投資を行ったことなどから、売上高は当初の計画よりも上回りましたが、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益については、当初の計画値と実績値で差異が生じる結果となっております。

以 上